

# 院内トリアージ実施マニュアル

いとう王子神谷内科外科クリニック

第2版 2019年3月25日作成

院長 伊藤

Step1：受付の際、来院時の症状や受診理由を確認する。



Step2：問診票の内容や、呼吸・血圧・顔色などを確認する。



Step3：院内トリアージ実施基準をもとに、下記の緊急度区分を判断する。



## トリアージ緊急度区分

区分	内容	再評価時間
蘇生	生命または四肢・臓器が危篤状態で、直ちに初期対応が必要な病態	0分
緊急	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な病態	15分以内
準緊急	バイタルサインについては安定しているが、長時間待てない病態	30分以内
低緊急	緊急性が低く、診察までに1～2時間待てる病態	60分以内
非緊急	緊急性や病態の増悪は考えられず、診療まで長時間待てる病態	120分以内



Step4：待ち時間に応じて再度トリアージを行い、状態の変化を判断する。

院内トリアージとは、専門的知識を有した医師または看護師が、救急車以外の方法で来院した患者に対して、診療や治療の優先順位を決定する行為のことである。当院では、救急外来受診患者の評価や、重症者が優先的に受診できるシステムとして院内トリアージを実施し、診療の推進をはかる。